

洗脳の種類明かし

内容見本

目 次

はじめに.....	3
まるで手品.....	3
宗教等のグループに所属中の方へ.....	4
「絶対出たくなる牢屋」？.....	5
「すぐ終るから」のつもりが.....	5
独りぼつちにさせろ.....	6
熱狂に巻き込め.....	7
「締切厳守が一番、確認が二番」.....	8
不安感と安心感の間で心を揺さぶれ.....	8
負ひ目を感じさせよ.....	9
従ふか死ぬか、ヤクザの二択.....	9
都合の悪い情報は隠せ.....	10
騙しを長続きさせよ.....	12
「カルト」新興宗教」？.....	12
宗教だけ気を附ければ良いのか.....	13
「お金」だけが問題ではない.....	14
勧誘活動も「教育」のうち.....	15
少数派のプライドをくすぐれ.....	16
調教＋情報統制＋脅し＝洗脳.....	17
アメとムチ.....	17
「心の警報器」のスイッチを切れ.....	18
「友達がるるからやめられない」.....	19

「帰る場所なんて他にあるの？」.....	20
「子供に最良のものを」.....	21
「洗脳」とは.....	22
そもそも「脱会」は今すぐ必要？.....	22
カルト組織から家族を救ふために.....	23
カルト組織は決して「無敵」ではない.....	24
「グループをやめた人」が狙はれてゐる.....	24
「脱洗脳」の問題点.....	25
「元メンバー」なら本当に安心？.....	26
元メンバーと接触する際の注意点.....	27
私達の身近にもあふれてゐる.....	27
傾向と対策を知らう.....	28
附録 ホメオパシーについて.....	29

はじめに

未だに新聞やテレビのニュースによく登場し、一向に減らない「振り込め詐欺」。「こんなに話題になって、あちこちで注意が呼び掛けられても、未だに引つかかるなんて、どうして？」と思つた事はありませんか。「注意力が欠けてゐるのでは」と言ふ人もゐますが、本当でせうか。

中学や高校のクラスメートから久し振りに電話が掛かつたのでファミレスで会ふ約束をすると、そこには本人の他にもう一人か二人いて、「確実に儲かるビジネス」「もつと幸せになる方法」等の話が延々と始まり、なかなか抜け出せない、といふ体験はありませんか。自分はその話に興味がないけど相手の熱意が何だか異様で、違和感を感じるかも知れません。「こんな異様な空気のビジネスや宗教は初めて見るし怖い」「騙されてゐる友達を何とかして助けられないものか」と思ひますか。

こんな話題になると、「一攫千金の怪しいビジネスや怪しい宗教などに引つ掛かる人は、自分からイエスと答へて、やりたくてやつたんだから、百パーセント自己責任ではないか」と言ふ人もゐますが、本当でせうか。

まるで手品

両者に共通してゐるのは、「人の心を巧みに操つて、特定の人やグループの言ひなりにさせる」巧妙なテクニクです。「自分はしつかりしてゐる」と思ひ込んでゐる人でさへも、巧みな話術で丸め込む、巧妙なテクニクが隠されてゐるものです。しかも、騙されてゐる人に対し、証拠を挙げて「あなたは騙されてゐますよ」と説明しても、「違ふ！ 私は騙されてゐないし、押付けられて無理矢理やつてゐるわけでもない」と、まるで聞く耳を持たなくなりませう。

謂はば、人の心を自在に操る「手品」のやうです。本物の手品は人を楽しませる騙しですが、詐欺や悪徳商法や悪質な宗教の「手品」は、屁理窟を駆使して人の心を支配し、金を奪つたり人生をめちゃめちゃにする、人の道から外れた騙しです。

このやうな悪の手法に対抗する方法はありますか。ここで、「手品師が一番嫌ひな事」は何なのか考へて下さい。それは、その手品師が手品を見せる前に、誰かが「種明かし」をしてしまふ事です。

この冊子は、皆さんもご存じの「振り込め詐欺」を始め、様々な悪徳商法や悪質な宗教グループ、そして



家庭内や学校内や会社内で広く見られる嫌がらせや虐待の問題まで、幅広く扱っていきます。そして、人の心をもてあそぶ「悪の手法」を、少しづつ「種明かし」していきます。さて、彼らはどんなトリックを使って人の心を操っていくのでせうか。また、なぜ周囲の人が真実を伝えても、騙されてゐる事になかなか気附かないのでせうか。

宗教等のグループに所属中の方へ

「自分のグループではなく」他のグループの話」だと思ってお読み下さい。他のグループに所属する人がトラブルに巻き込まれた話を聞いた時、「何とかして助けられないか」と思った事はありませんか。もしかしたら参考になるかも知れません。

中には、「自分は全うな（ビジネスや宗教などの）グループに入って活動してゐるつもりなのに、みんなに怪しいグループだと思はれて困る。この冊子も、さういふ話のつもりなのだろうか」とお思ひの方もいらつしやるかも知れません。

そのやうな方にあらかじめお断りしておきます。この冊子には、あなたの所属するグループを含め、特定のグループを名指して非難してゐる箇所はありません。飽くまでも、「一部の問題あるグループで一般的に見られる傾向」を、一般論として扱つてゐます。

それに、この冊子で「悪質なグループがよく使ふ手口」とし

て説明してゐる事柄の二、三が、たまたまあるグループに当てはまるからといって、即、「そのグループは危険だ」と決め附けるのも間違ひです。この冊子は、飽くまでも一般的な目安を挙げてゐるだけです。そもそも、必ずしも特定のグループが「白」か「黒」かにはつきり区分出来る、とは限りません。「ちよつと悪い」「相当悪い」といつた「程度」もあるでせうし、たとひ重大な問題があつたところで、「解決しようといふ気があつて、大抵すぐ解決される」か、「自分達に都合良い時以外は解決しようといふ気がなく、時には告発者に逆ギレしたり制裁を加へる」かも、かなり重要な要素です。

もしかしたら、あなたと一緒にグループに所属する、悪気のない家族や知人も、あなたがこの冊子を持つてゐたり読んでゐる事を心配し、「かういふネガティブな情報に接するのは、やめなさい」と心配する事があるかも知れません。

でも、忘れないでください。その人は良い動機で忠告してくれたのかも知れません。喧嘩腰の反論や、一度に沢山説明して相手を圧倒するのは避け、どうしてさう思つたのか尋ねたり、相手の理解に合はせ少しづつ説明する事で、ほんの僅かでも理解してくれるかも知れません。

恐らく、あなたの所属するグループの中でも、「我々と対立してゐる何々といふグループは、甘い言葉で人々を勧誘してゐる反面、実際にはひどい事をしてゐるから、気を付けなさい」といふ注意を耳にするかも知れません。そして、「そのやうな悪質

なグループに騙されてゐる人や家族を、どのやうに助ける事が出来るだらうか」と思ふかも知れません。

本書はそのやうな方のためにもきつとお役に立てるのではないかと思ひます。あきらめず是非とも最後までお読みいただければ幸いです。

「絶対出たくなくなる牢屋」？

まづ本題に入る前に、「準備体操」として、クイズを一つ出します。

皆さんの中に、「牢屋に入りたい」と思ふ人はいますか。まづゐないものです。しかし、ある工夫をすると、「牢屋にみんなが殺到して、入りきれないくらゐになる」し、しかも「牢屋から出さうとすると必死になつて抵抗する」やうになります。さて、その工夫とは何でせうか。――



+



|| ?



+



|| ?

一つの方法は、「動物園からライオンが逃げた！」といふデマを広める事です。すると、途端に「牢屋」は「牢屋」ではなくなります。「ライオンの危険から守ってくれる避難所」になるのです。

または、超高層ビルの屋上に牢屋を置いたらどうなりますか。「中に入れば絶対に転落しない」と、安心して入つてくれる事でせう。いづれの場合も、「牢屋から出ると危険」と思ひ込んで、出さうとすると必死になつて抵抗する事が容易に想像出来ます。「悪の手品師」達に騙された人達が、自分が騙された事に氣附かないだけでなく、周囲の忠告を聞き入れようとしなない事は珍しくありませんが、簡単にたとへるなら、このやうな状況に似てゐます。

「すぐ終るから」のつもりが……

「悪の手品師」達がいきなり最初から本題を持ち出す事は、ま

づありません。

「数分だけですが、ちよつとお時間よろしいですか？」が口癖の事が多いものです。確かに、最初の話は数分で終るかも知れません。しかし、その話には大抵「続き」があるものです。最後は、「ローンを組んで商品を買ふ」とか「グループの会員になつて忙しく活動する」といふ「落ち」につながつてゐる事は少なくありません。

或いは「無料の商品」や「無料のサービス」を提供し、それに関心を持つてくれた人をうまく言ひくるめて、もつと高い商品やサービスを半ば押し売りする事もあります。無料のものを提供する事自体は間違つてゐませんが、真つ当な商売だけとは限りません。「無料でもらつて何だか悪いから」といふ義理を逆手に取つた悪徳商法もあります。

大学やカルチャースクールでは、ごく一部なのですが、バツクに宗教団体のついてゐる「ダミーサークル」が活動してゐる事もあります。いきなり「宗教グループに入りませんか？」と言つても断られてしまふかも知れませんが、「ヨガやヒーリングの教室」のやうな宗教色のあまり無いセミナーなら、関心を持つ人が多くかも知れません。一旦そのグループに入つてもらつてお友達になつた後、宗教の勧誘が始まるのです。

たとへて言ふなら「ナンパ」のやうなものです。いきなり通行人に「エッチな事をさせてください」と言ふナンパ師はゐません。「ちよつとそこでお茶飲んでかない？」と誘ふものですが、

その「ちよつと」は「ちよつと」で終らないものだといふ事を、皆さんもよくご存じでせう。それと同じくらゐ、この種の商売人も言葉巧みに人を丸め込む「交渉上手」です。

独りぼつちにさせろ

「悪の手品師」達は、多くの場合、ターゲットを孤立させます。昔の級友から久し振りに電話が掛かつてきたのでファミレスで会つたら、四人掛けの席に、その人に加へてボスらしき人の二、三人で囲まれてしまひ、怪しいビジネスや宗教の勧誘が始まつてなかなか帰してもらへない、といふのはよく聞く話です。

会員権商法や絵画商法などでは、ビルの中に連れ込んで、一人一人に担当者が附いて長いセールストークが始まり、ローン契約書の判を押すまで帰してくれない事があります。

悪質な自己啓発セミナーや宗教の中には、人里離れた山奥で説明会が開かれるので、逃げようにも帰りの足を奪はれてしまふ事があります。携帯もつながらなかつたり、預かられてしまふかも知れません。

このやうに、複数人を相手にする代りに、一人の時を狙つたり、一人一人ばらばらに分けて説得するのは、「悪の手品師」のよく使ふテクニクですが、これは、隣の家族や友人と相談する機会を奪つて、自分のペースに持ち込むためなのです。ターゲットが複数人だと、隣にゐる人に「私も以前騙されさうになつ